

警告・エラーイベントが記録される現象について

ホスト OS に記録されるアプリケーションイベントログ

イベントログ内容

種類: 警告

ソース: Microsoft-Windows-Winlogon

イベント ID: 6004

説明:

winlogon 通知サブスクライバー <TrustedInstaller> で重要な通知イベントに失敗しました。

現象

Hyper-V 有効化時に、イベントログ(アプリケーションログ)に次の警告イベントが記録される。

発生条件

Hyper-V を有効化する (Hyper-V 有効化後にのみ登録される。以降の起動では、未発生)

対処方法

対処する必要はありません。

解説

Trusted Installer サービスが、シャットダウンにより強制終了されたことが原因です。
再起動時に記録されている場合は、運用上 問題ありません。

イベントログ内容

種類: 警告

ソース: WMI

イベント ID: 63

説明:

プロバイダー HgsClientWmi は LocalSystem アカウントを使うために Windows Management Instrumentation 名前空間 root¥Microsoft¥Windows¥Hgs に登録されました。このアカウントには特権があり、プロバイダーがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。

現象

Hyper-V 有効化時に、イベントログ(アプリケーションログ)に次の警告イベントが記録される。

発生条件

Hyper-V を有効化する (Hyper-V 有効化後にのみ登録される。以降の起動では、未発生)

対処方法

対処する必要はありません。

解説

Windows 管理インストルメンテーション (WMI) プロバイダーのホスト プロセスが特権を持つローカル システム アカウントで実行されたことが原因です。

HgsClientWmi プロバイダーが信頼できる発行元(Microsoft)であるために、このイベントは無視してかまいません。

ホスト OS に記録されるシステムイベントログ

イベントログ内容
種類: 警告 ソース: Service Control Manager イベント ID: 7000 説明: VMSP サービスを、次のエラーが原因で開始できませんでした。 システムに接続されたデバイスが機能していません。
現象
Hyper-V 有効化時に、イベントログ(システムログ)に上記の警告イベントが記録される。
発生条件
Hyper-V を有効化する (Hyper-V 有効化後にのみ登録される。以降の起動では、未発生)
対処方法
対処する必要はありません。
解説
仮想ネットワークマネージャーにエラーが発生せず使用できている場合は問題ありません。

イベントログ内容

種類: エラー

ソース: Microsoft-Windows-Hyper-V-VmSwitch

イベント ID: 15

説明:

Failed to restore configuration for port XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXXX (Friendly Name:) on switch XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXXX (Friendly Name:), status = オブジェクト名が見つかりません。

現象

Hyper-V ホスト OS の起動時に上記のエラーイベントが登録される。

発生条件

- 仮想マシンに仮想スイッチを割り当てた後、その仮想マシンを一度も起動せずに Hyper-V ホスト OS のシャットダウンと起動を行う。
- 仮想マシンに仮想スイッチを割り当てた後、その仮想マシンを一度も起動せずに仮想スイッチを仮想マシンから取り外してホスト OS のシャットダウンと起動を行う。

解説

Hyper-V ホスト OS が起動する際に行われる初期化処理において、スイッチ名とポート名に関連付けられたバイナリデータを読み出そうとしますが、前述の発生条件(仮想マシンに仮想スイッチを割り当てた後に、仮想マシンが起動されていない)の場合には、当該バイナリデータがまだ存在しないため、処理がエラーとなり、エラーイベント 15 が記録されます。

(バイナリデータは、仮想マシンが起動される際に作成されます。)

発生条件に該当している場合、本ログは Hyper-V の動きに影響を与えるものではないため、無視して問題ありません。

回避策

本エラーログは無視して問題ありませんが、仮想スイッチを割り当てた仮想マシンを一度でも起動することで登録されなくなります。

仮想マシンを一度でも起動する前に仮想スイッチを取り外してしまった場合は、以下の手順で仮想スイッチの再作成を実施することで本エラーログを回避することが可能となります。

1. Hyper-V マネージャーを起動し、仮想スイッチが割り当てられている全ての仮想マシンの[設定]-[ネットワークアダプター]から仮想スイッチを取り外す。

2. Hyper-V マネージャーの[仮想スイッチマネージャー]をクリックして[仮想スイッチマネージャー]画面を起動し、作成済みの仮想スイッチを選択した状態で[削除]をクリックする。
3. 引き続き[仮想スイッチマネージャー]画面で、削除した仮想ネットワークスイッチと同様の設定をした新しい仮想ネットワークスイッチを再作成する。
4. 仮想スイッチを使用する全ての仮想マシンに再度仮想スイッチを割り当てる。
5. 仮想スイッチを割り当てた仮想マシンを一度起動する。

ホスト OS に記録される Hyper-V イベントログ

イベントログ内容

種類: エラー

ソース: Hyper-V-VMMS

イベント ID: 22052

説明:

ライブマイグレーションはドメインに参加しているコンピューターでのみ有効にできます

現象

Hyper-V ホスト OS の起動時に上記のエラーイベントが登録される。

発生条件

非ドメイン環境の Hyper-V ホストを再起動すると登録される。

対処方法

対処する必要はありません。

解説

Hyper-V ホストの起動時に行われる MigrationManager の初期化処理にてワークグループ環境に対してもドメイン環境と判断して処理を進めてしまい、該当のエラーが出力されます。
発生条件に該当している場合、本ログは Hyper-V の動きに影響を与えるものではないため、無視して問題ありません。

イベントログ内容

種類: エラー

ソース: Hyper-V-VMMS

イベント ID: 16320

説明:

チェックポイント構成を読み込めません: プロセスはファイルにアクセスできません。別のプロセスが使用中です。(0x80070020)。(チェックポイント ID 3F9544BA-5CB7-458B-870E-3DC7F7BB97FA)

現象

Hyper-V ホスト OS の起動時に上記のエラーイベントが登録される。

発生条件

Hyper-V 上の仮想マシンにチェックポイントが存在する状態で Hyper-V ホストを再起動すると登録される。

対処方法

対処する必要はありません。

解説

この事象は OS が再起動されたタイミングで Hyper-V ホストが仮想マシンの登録処理を実施しますが、処理同士の同期が取れていないために発生します。

回避策

本エラーログが登録された場合も動作に影響はないため対処する必要はありませんが、本現象は累積更新プログラムで修正されています。

KB4476976 以降の累積更新プログラムを適用してください。

Windows 10 および Windows Server 2019 の更新履歴

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4464619>

イベントログ内容

種類: エラー

ソース: Hyper-V-VMMS

イベント ID: 20790

説明:

'C:\Users\Public\Documents\Hyper-V\Virtual Hard Disks\WS2019.vhdx' のセキュリティ情報を設定できませんでした: 'エラー: 一般のアクセスが拒否されました' ('0x80070005')。

現象

Hyper-V ホスト OS に上記のエラーイベントが登録される。

発生条件

仮想マシンのチェックポイントを適用すると登録される。

対処方法

対処する必要はありません。

解説

チェックポイント適用時に VHD に対するセキュリティに関する処理が行われますが、この処理が失敗し、エラーが登録されます

ただし、このエラーが発生してもチェックポイント自体は正しく適用できているため、発生条件に合致している場合、本ログは無視して問題ありません。

ゲスト OS（Windows 7 SP1、Windows Server 2008 R2 SP1）に記録される

システムイベントログ

イベントログ内容
種類:エラー ソース:VDS Basic Provider イベント ID:1 説明: 予期しないエラーが発生しました。エラー コード: 490@01010004
現象
ハードディスクを追加した仮想マシン上でイベントログ(システムログ)に次のエラーイベントが記録されることがある。
発生条件
仮想マシンの SCSI コントローラにハードディスクを追加する
対処方法
対処する必要はありません。
解説
ディスクを接続したコントローラのバス情報を VDS サービスが取得できないことが原因です。この情報は取得できなくても問題はないため、発生条件に該当している場合は、運用上 問題ありません。

ゲスト OS（Windows 7 SP1）に記録されるシステムイベントログ

イベントログ内容

種類: エラー

ソース: dmrvsc

イベント ID: 2

説明:

動的メモリドライバでエラーが発生しました。このバージョンの Windows では、この機能はサポートされていません。

現象

Windows 7 Professional Edition ゲスト OS の起動時に以下のイベントログ(システムログ)が毎回登録される。

対処方法

対処する必要はありません。

解説

Windows 7 Professional Edition では動的メモリはサポートされていないため、本イベントログは登録されても運用上問題ありません。